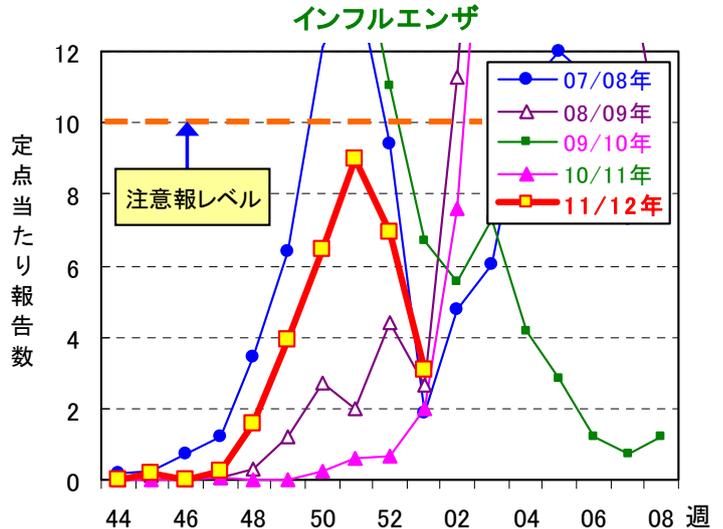


■コメント

第1週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

- ・インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、RSウイルス感染症は、多い状態が続いていると考えられます。
- ・広島県北部保健所で第52週に注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えたため、広島県より1月6日に「インフルエンザ注意報」が発令されました。

寒い日が続いていますので、健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行など感染症予防に心がけてください。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	114	3.08	2.75		ヘルパンギーナ	-	-	-	
咽頭結膜熱	8	0.33	0.26		流行性耳下腺炎	7	0.29	0.43	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	0.75	0.55		RSウイルス感染症	27	1.13	0.81	
感染性胃腸炎	142	5.92	9.07		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	50	2.08	1.79		流行性角結膜炎	5	0.63	0.70	
手足口病	-	-	0.13		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	5	0.21	0.11		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	7	0.29	0.33		マイコプラズマ肺炎	9	1.29	0.31	
百日咳	1	0.04	0.13		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	急性脳炎	1	1	女性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	2	2	男性(30歳代)・エイズ、男性(80歳代)・エイズ

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	週次	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
		報告数	週次	145	5	43	167	49	12	11	10	5	-	6	30	-	7	-	-
定点当り	第49週	3.92	0.21	1.79	6.96	2.04	0.50	0.46	0.42	0.21	-	0.25	1.25	-	0.88	-	-	1.57	-
	第50週	6.46	0.17	2.25	7.63	2.42	0.25	0.67	0.58	0.42	-	0.21	1.96	-	0.50	-	-	1.14	-
	第51週	8.97	0.08	1.08	8.92	2.58	0.04	0.13	0.33	0.08	-	0.13	2.13	-	-	-	-	1.00	0.14
	第52週	6.95	0.33	1.33	5.75	1.75	0.25	0.33	0.13	0.04	-	0.13	1.71	-	-	-	-	1.57	-
	第1週	3.08	0.33	0.75	5.92	2.08	-	0.21	0.29	0.04	-	0.29	1.13	-	0.63	-	-	1.29	-
全国	第51週	3.34	0.46	2.26	12.76	2.64	0.58	0.23	0.52	0.03	0.04	0.71	1.17	0.03	0.58	0.04	0.02	1.19	0.05
	第52週	3.75	0.34	1.37	9.97	2.46	0.39	0.17	0.38	0.02	0.03	0.58	1.05	0.01	0.55	0.02	0.04	1.00	0.04

■ 新たに判明した病原体検出状況

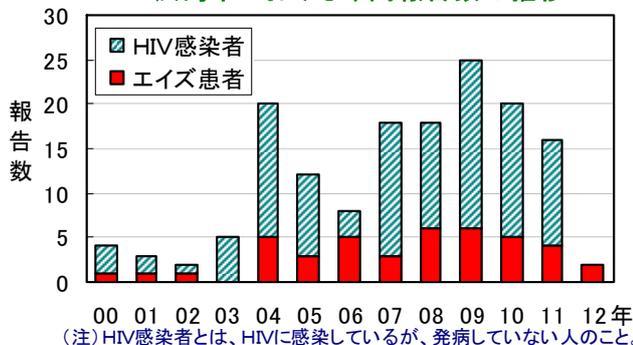
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	6	男	2011/12/02	糞便	ノロウイルスG2群
突発性発しん	発熱(39.7) 発疹 意識障害 熱性痙攣	0	女	2011/11/27	血液	ヒトヘルペスウイルス6型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 上気道炎 肺炎	不明	女	2011/11/30	咽頭拭い液	エコーウイルス7型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.9) 気管支炎 下痢	0	女	2011/10/29	咽頭拭い液 鼻汁(拭い液)	RSウイルス アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における後天性免疫不全症候群の年間報告数の推移 (2012年1月8日現在)

広島市における年間報告数の推移



広島市では、後天性免疫不全症候群(エイズを発症していないHIV感染者を含む)の報告数は2004年に20件と急増し、迅速(即日)検査の導入された2007年以降は多い状態で推移しています。

エイズ医療は急速に進歩しており、感染後、早期に適切な治療を受ければ、エイズの発症を長期にわたり防ぐことができます。

エイズについて不安や疑問をお持ちの方は、ぜひ検査や相談を受けましょう。

エイズについての相談と無料・匿名検査実施場所・電話番号一覧

中保健センター	504-2528	安佐南保健センター	831-4942
東保健センター	568-7729	安佐北保健センター	819-0586
南保健センター	250-4108	安芸保健センター	821-2808
西保健センター	294-6235	佐伯保健センター	943-9731

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2012年第1週(1月2日~1月8日)